

日本型フォレスター育成調査・研修改良事業（新規）

【平成24年度概算決定額 251,835（0）千円】

事業のポイント

地域の森林づくりの全体像を描く日本型フォレスターを育成します。

・新たな森林計画制度では、市町村森林整備計画を森林づくりのマスタープランと位置づけ、市町村が森林の取扱いルールや路網等を定めることとしています。また、今回創設された森林経営計画は、市町村が当該計画の認定業務を行うこととしており、これらの業務を担う市町村が果たす役割は、今後より重要となります。

このため、森林・林業に関する専門知識・技術等に一定の資質を有した日本型フォレスター等を育成し、市町村森林整備計画の策定等市町村が行う行政事務を支援することにより、利用期を迎えつつある森林資源を活用した持続的な森林経営を全国各地で進めます。

政策目標

・平成27年度末までに准フォレスター1,500人を育成

<内容>

1. フォレスター育成調査

平成25年度からのフォレスター認定に向けた仕組みづくりとその候補者（准フォレスター）の育成を進めるため、仮カリキュラムによる研修を実施するとともに、研修受講者による試行的なフォレスター活動等の状況調査を行います。

2. フォレスターの研修改良等

1の調査結果を踏まえ、研修カリキュラムの検証・見直し及びフォレスター認定の評価基準・評価手法の開発を行います。

3. 林業専用道技術者等研修改良

林業専用道の設計・監督に関する研修等について、仮カリキュラムによる研修の実施及びその研修カリキュラムの改善を行います。

<委託先>

民間団体

<事業実施期間>

平成24年度～27年度（4年間）

[担当課：林野庁整備課、研究・保全課]